

北方領土問題現地青年の集い報告

5月17日(土)、標津町において「平成26年度北方領土問題現地青年の集い」が開催されました。

本集いは、根室管内5支部を持ち回りで開催する後継者の研修会で、本年度は近隣の十勝、釧路、オホーツク支部の後継者や一般住民も含め約60名が参加しました。

来賓として、衆議院議員の鈴木貴子氏、伊東良孝氏(代理)、北方領土対策根室地域本部副本部長谷内紀夫氏、標津町長金澤瑛氏(代理)の皆様からご挨拶をいただきました。

講師には昨年度、新聞協会賞を受賞した北海道新聞社編集局報道センター編集委員本田良一氏をお迎えし、「北方領土交渉 経緯から探る今後の行方」と題して講演をいただきました。内容は、日露間の領土交渉に揺れ動いてきた地方自治体や返還運動関係者の歴史と日露両国の国益を鑑みた今後の交渉について、また、ウクライナ問題を抱えるロシアの現状を踏まえて記者としての客観的見地からお話をいただきました。



参加者に挨拶をする萬屋副理事長



元島民による語り部



本田良一氏による基調講演



熱心に聞き入る参加者